

略歴

渡邊 榮文 (わたなべ えいふみ) 教授

1947年10月20日生まれ 熊本県山鹿市出身

最終学歴

1973年3月 九州大学大学院法学研究科修士課程公法学専攻修了

学位

1993年6月 博士(法学)取得(九州大学法博乙第33号)

職歴

- 1973年4月 九州大学法学部助手(1974年3月まで)
- 1976年4月 鹿児島経済大学経済学部専任講師(1981年3月まで)
- 1981年4月 鹿児島経済大学経済学部助教授(1984年3月まで)
- 1984年4月 福岡大学法学部助教授(1987年3月まで)
- 1987年4月 福岡大学法学部教授(1994年3月まで)
- 1989年8月 福岡大学在外研究員(フランス留学、1990年8月まで)
- 1994年4月 熊本県立大学総合管理学部教授(2013年3月まで)
- 1998年4月 熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科修士課程教授
(大学設置審議会教員組織審査㊸合判定)
- 1998年4月 熊本県立大学総合管理学部長、同大学院アドミニストレーション研究科長
(2000年3月まで)
- 2000年4月 熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科博士後期課程教授
(大学設置審議会教員組織審査㊸合判定)
- 2008年4月 熊本県立大学総合管理学部パブリック・アドミニストレーションコース長
(2010年3月まで)

非常勤講師

北九州大学法学部(1977年度)、福岡大学法学部(1978年度、1980年度、1982年度、1994年度～1997年度、2000年度～2006年度)、鹿児島大学法文学部(1983年度、1986年度、2000年度、2003年度、2005年度、2007年度)、鹿児島経済大学経済学部(1984年度)、久留米大学法学部(1991年度～1993年度、1995年度～1997年度、2000年度～2008年度)、長崎県立大学経済学部(2006年度)

社会活動（主なもの）

- 1988年7月 福岡県開発審査会委員（1989年8月まで）
1988年7月 福岡県建築審査会委員（1989年8月まで）
1988年7月 久留米市建築審査会委員（1998年3月まで）
1996年6月 熊本県建築審査会委員
（会長代理：2000年6月～2003年6月まで、会長：2008年8月～現在まで）
2000年8月 山鹿市都市計画審議会委員（会長：2000年8月～2003年8月まで）
2001年3月 山鹿市行政改革懇話会委員（会長：2001年3月～2005年3月まで）
2001年8月 熊本県市町村合併支援会議委員（座長：2001年8月～2002年3月まで）
2003年2月 熊本県情報公開審査会委員（会長代理：2007年2月～2009年1月まで）
2003年8月 熊本県屋外広告物審議会委員（会長：2006年8月～2009年7月まで）
2004年4月 大学基準協会相互評価委員会政策科学系専門評価分科会委員（2005年3月まで）
2006年8月 玉名市行政改革推進懇話会委員（会長：2006年8月～現在まで）
2007年3月 山鹿市立小・中学校規模適正化等協議会委員（委員長：2007年3月～現在まで）
2010年7月 熊本市公的オンブズマン条例検討委員会委員
（委員長：2010年7月～2010年12月まで）

賞罰

- 1980年5月 財団法人東京市政調査会（公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所）第6回
藤田賞受賞（「ローカル・オンブズマン論」）

主な研究業績

I. 著書

1. 単著

- 『行政学のデジャ・ヴューボナン研究』（九州大学出版会、1995年2月）
『初期オンブズマン論』（ふくろう出版、2006年6月）

2. 共著

- 『憲法新版』（手島孝編、青林書院新社、1983年3月）
『情報公開—その原理と展望—』（石村善治編、法律文化社、1983年12月）
『公法学の開拓線』（大隈義和編、法律文化社、1993年3月）
『新世紀の公法学』（安藤高行・大隈義和編、法律文化社、2003年4月）
『熊本学のススメ—地域学入門—』（熊本県立大学編、2008年4月）
『比較地方政治』（根本俊雄編『講座臨床政治学』1巻、志學社、2012年9月）

II. 論文

1. 単著

- 「オンブズマン論序説(1)」（東京市政調査会『都市問題』66巻3号、1975年3月）
「オンブズマン論序説(2)」（東京市政調査会『都市問題』66巻4号、1975年4月）

- 「オンブズマン論序説(3・完)」(東京市政調査会『都市問題』66巻5号、1975年5月)
- 「オンブズマン制度の一般理論(1)」
(鹿児島経済大学『鹿児島経大論集』19巻2号、1978年10月)
- 「オンブズマン制度の一般理論(2・完)」
(鹿児島経済大学『鹿児島経大論集』19巻3号、1978年12月)
- 「ローカル・オンブズマン論(1)」(東京市政調査会『都市問題』70巻1号、1979年1月)
- 「ローカル・オンブズマン論(2)」(東京市政調査会『都市問題』70巻2号、1979年2月)
- 「ローカル・オンブズマン論(3)」(東京市政調査会『都市問題』70巻3号、1979年3月)
- 「ローカル・オンブズマン論(4・完)」(東京市政調査会『都市問題』70巻4号、1979年4月)
- 「行政オンブズマン論」(鹿児島経済大学『鹿児島経大論集』20巻3号、1979年10月)
- 「ローカル・オンブズマン論」(東京市政調査会『都市問題』71巻7号、1980年7月)
- 「フランス行政法におけるメディトウール」
(鹿児島経済大学『鹿児島経大論集』22巻3号、1981年10月)
- 「19世紀初頭におけるフランス行政法」
(鹿児島経済大学『鹿児島経大論集』25巻3号、1983年10月)
- 「シャルル=ジャン・ボナンの行政理論(1)」
(福岡大学『法学論叢』29巻1・2・3・4合併号、1985年3月)
- 「シャルル=ジャン・ボナンの行政理論(2)」(福岡大学『法学論叢』30巻2号、1985年12月)
- 「ボナン行政学の俯瞰図」(福岡大学『法学論叢』30巻3・4合併号、1986年3月)
- 「ボナン行政学の三要素」(福岡大学『法学論叢』31巻1号、1986年11月)
- 「ボナン行政学の意義」(福岡大学『法学論叢』32巻2号、1987年12月)
- 「シャルル=ジャン・ボナンの行政学—フランス行政学史論序説—」
(日本行政学会『年報行政研究』23号、1989年5月)
- 「シャルル=ジャン・ボナン—その生涯と著作—」
(福岡大学『法学論叢』35巻1・2・3合併号、1990年12月)
- 「アドミニストレーション論—H・ファヨールにおける—」
(熊本県立大学『アドミニストレーション』1巻1・2合併号、1994年12月)
- 「行政における補完性の原理」
(熊本県立大学『アドミニストレーション』3巻3号、1996年12月)
- 「アドミニストレーション論序説」
(熊本県立大学『アドミニストレーション』4巻3・4合併号、1998年3月)
- 「補完性の原理と地方自治体の多様化」
(日本計画行政学会九州支部『JAPA九州』11号、1998年9月)
- 「アドミニストレーション学—アドミニストレーションの新パラダイム—」
(日本計画行政学会『計画行政』22巻1号、1999年3月)
- 「経営・行政融合論—経営の行政化—」
(熊本県立大学『アドミニストレーション』7巻2号、2000年12月)

「行政・経営融合論—行政の経営化—」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』8巻1・2合併号、2001年9月)

「市町村と地縁団体—市町村合併の1論点—」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』8巻3・4合併号、2002年3月)

「アドミニストレーション論の系譜—H・ファヨール—」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』9巻3・4合併号、2003年3月)

「アドミニストレーション論の系譜—L.F.アーウィック—」

(熊本県立大学『新千年紀のパラダイム—アドミニストレーション—』上巻、九州大学出版会、2004年5月)

「科学の十字路—アドミニストレーション研究方法叙説—」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』11巻3・4合併号、2005年3月)

「ローカル・オンブズマン—地方自治体における三権分立の確立?—」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』12巻3・4合併号、2006年3月)

「準司法制度としてのローカル・オンブズマン」

(日本オンブズマン学会『行政苦情救済&オンブズマン』17巻、2006年4月)

「フランスの^{エスプリ・ド・コール}団体精神—その生理と病理—」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』14巻1・2合併号、2007年12月)

「アドミニストレーションの学窓から見えるもの」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』14巻3・4合併号、2008年3月)

「私のオンブズマン学—過去・現在・未来—」

(全国行政相談委員連合協議会『季刊行政相談』118号、2008年8月)

「フランス行政学の消初めの主題—Cooptation—」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』15巻3・4合併号、2009年3月)

「自治体オンブズマンの地方統治制度上の定位」

(日本オンブズマン学会『行政苦情救済&オンブズマン』20巻、2009年7月)

「アドミニストレーションの系統樹」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』16巻3・4合併号、2010年3月)

「アドミニストレーション過程同型論」

(熊本県立大学『アドミニストレーション』18巻1・2合併号、2011年11月)

「PDCA考」(熊本県立大学『アドミニストレーション』18巻3・4合併号、2012年3月)

2. 共著

「参加と協働の創造—道の駅『鹿北』—」(全国市長会『市政』50巻4号、2001年4月)

「参加と協働の創造—花の町『松橋』—」(全国市長会『市政』50巻5号、2001年5月)

「参加と協働の創造—人と歴史がひかるまち『山鹿』—」

(全国市長会『市政』、50巻6号、2001年6月)

III. 調査報告書(共著)

『九州大学産業労働研究所報』(九州大学産業労働研究所、1973年3月)

『環境科学研究報告集 (B246-R40-2)』(環境政策の総合的評価・検討班、1985年3月)

『環境科学研究報告集 (B340-R40-3)』

(都市並びに近郊における環境の維持・向上と国土利用制度、1988年1月)

『唐津市総合計画基礎調査』(九州経済調査協会、1992年3月)

『唐津市総合計画』(唐津市、1993年3月)

『市町村の自主的合併に関する調査研究報告書』

(熊本県市町村合併調査研究委員会中間報告、1995年3月)

『市町村の自主的合併に関する調査研究報告書』

(熊本県市町村合併調査研究委員会、1996年3月)

『市町村における行政運営の効率化に関する調査研究報告書』

(熊本県立大学地域貢献研究プロジェクトチーム、2004年7月)

IV. 学会発表 (単独)

「英国におけるオンブズマン制度についての一考察」

(第48回九州法学会、於宮崎大学、1973年11月)

「シャルル＝ジャン・ボナンの行政理論」

(1988年度日本行政学会、於専修大学、1988年5月)

「自治体オンブズマンの地方統治制度上の定位－オンブズマン理論の新たな展開のために－」

(第4回日本オンブズマン学会、於早稲田大学、2008年4月)

所属学会

1971年 5月 九州法学会 (現在まで)

1971年 10月 日本行政学会

(理事：1998年5月～2006年5月まで、監事：2006年5月～2008年5月まで、理事：2008年5月～2010年5月まで)

1973年 10月 日本公法学会 (現在まで)

1998年 6月 日本計画行政学会九州支部 (理事：2009年6月～現在まで)

1998年 9月 日本計画行政学会 (理事：2011年4月～現在まで)

2005年 4月 日本オンブズマン学会 (理事：2005年4月～現在まで)